

# 京都のまち再生へ 力をあわせましょう

日本共産党  
京都市会議員団

京都駅南部地域の開発 (ドローン撮影者: 松本博)



梅小路新駅、ホテル計画の中央卸売市場跡地、日通跡地、中央倉庫跡。公有地も提供し次々ホテルに (ドローン撮影者: 松本博)



これで  
いいのか  
京のまち壊し

市民の財産である学校跡地が  
次々ホテルに



元清水小、元白川小(東山区)、元立誠小(中区)に続き、元植柳小跡地もホテル計画。住民の避難所は隣の公園の地下に。

京都の美しい景観を守れ!

現況



建築後予想図



東京資本のヒューリック社が計画している4階建てのホテル建設によって、左京区無鄰菴西側の南禅寺参道からの景観が台無しに

京都市  
安倍政権

もっと「宿泊施設を」 もっと「観光客を」と大号令

国は、2020年オリンピックに向け4千万人の訪日外国人観光客数を目標にする観光戦略を進め、2015年の「観光白書」は、「観光関連産業の『生産性向上』などで『稼ぐ力』をいっそう強める」と強調しています。こうした国の方向と歩調を合わせ、京都市は「観光インバウンド」の吸収を最大目標にし、宿泊施設の建設ラッシュ、ホテル・商業施設など誘致のための規制緩和、小学校跡地を外資を含む大手ホテル資本に超低利で長期に貸し出すなど、京都の景観と住環境、コミュニティの土台をほりくずしています。

安倍首相

「観光を京都の成長の起爆剤に」

(2018年9月京都で)

菅官房長官

「(観光公害対策は)一義的には自治体の問題」と人ごと。「外国人観光客4千万人達成にむけ受け入れ整備を加速化する方針」(2019年6月京都で)いっそうの宿泊施設拡充を求めた。

京都を  
守ろう!

共同してまち壊しストップ

京都の美しい景観や居心地のよい住環境に愛着があります。このまちを壊しながら成り立つ観光などありません。私たちは、南禅寺の参道、無鄰菴・瓢亭の風情と住環境を守る眺望景観創生条例に基づく市民提案も行い、行政や東京資本による開発と闘っています。一緒に京都のええとこ、守りましょう!

南禅寺・岡崎の景観と住環境を守る会  
共同代表 東村 美紀子



突如持ち上がった民泊開設問題は、反対運動の高まりで撤退に追い込むことができました。これを契機に住民の総意のもと建築協定を締結し住環境を守るために力を合わせています。

上京区選佛寺町南部建築協定運営委員会  
運営委員長 山本 隆一



京都市学校跡地のたたき売りは許せません。力を合わせて住民無視のむちゃくちゃな計画をストップさせましょう。

植柳校跡地問題を考える会  
大屋 峻

